

研修責任者等研修事業 都道府県名（ 福島県 ）

（教育担当者研修）

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 （ 1 ）箇所
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

県内全域からの利便性及び研修プログラムの履修に対応できる教育環境を確保できること。

3. 研修開催回数 延べ（ 1 ）回

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)
（開催回別に記入してください）

開催回	応募者数	受講者数
第1回	（ 73 ）名	（ 73 ）名
第2回	（ ）名	（ ）名
第3回	（ ）名	（ ）名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	（ 73 ）名	（ 73 ）名
診療所	（ ）名	（ ）名
助産所	（ ）名	（ ）名
介護老人保健施設	（ ）名	（ ）名
指定訪問看護事業所	（ ）名	（ ）名
その他 （ ）	（ ）名	（ ）名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	(2)
100～200未満	(22)
200～400未満	(22)
400床以上	(27)

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	()名
看護副部長	()名
師長	(14)名
係長・主任	(40)名
スタッフ	(19)名
その他	()名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

看護部門の新人看護職員の教育方針に基づき、各部署で実施される研修の企画、運営を中心となって行う者。

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

県内全病院へ開催通知を送付。

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

○講師選定

より実践的な内容とするため、次のような基準で選定した。

- ・講義: 所属施設において、新人看護職員研修を構築し、改善してきた経験を持つ教育担当者。
- ・演習: 平成22年度に実施した研修責任者研修の際に依頼した演習講師に加え、その研修の修了者のうち、所属施設において新人看護職員研修の企画運営を行っている者。また、研修実施前に演習講師を参集した会議を行い、グループ指導について共通認識のもとに進められるようにした。

○研修プログラム

- ・ガイドラインを基盤に、受講者が所属施設の機能や規模、教育理念・目的に合致した教育プログラムを作成できるようになることを目標として、講義やグループワークを組み入れた。
- ・グループワークでは、規模別、機能別にグループを編成し、講師1人あたり2グループを担当するように配置した。また、最終日に発表会を開催し、他グループの教育企画を共有できるようにした。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

次のことから、研修実施の目的は達成できたものと思われる。

- ・受講者が所属する病院の規模は100床未満から400床以上であり、幅広く参集することができた。
- ・研修終了後に実施した受講者アンケートの結果から、ガイドラインの考え方等を十分に理解することができ、所属施設の研修における課題も見えてきたと判断される。

※受講者アンケート結果

- ガイドラインの考え方を理解できた 98%
- 教育担当者の役割について理解できた 100%
- 新人看護職員を教育する体制づくりについて理解できた 100%
- 研修計画の立案と評価について理解できた 98%
- 実地指導者の育成と支援について理解できた 98%
- 所属施設における研修の改善につなげることが可能 88%

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先(社団法人福島県看護協会)